

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年10月25日まで（2013年7月11日設定）	
運用方針	<p>短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じて、ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

短期ロシアルーブル債オープン （毎月分配型）



第59期（決算日：2018年5月25日）
 第60期（決算日：2018年6月25日）
 第61期（決算日：2018年7月25日）
 第62期（決算日：2018年8月27日）
 第63期（決算日：2018年9月25日）
 第64期（決算日：2018年10月25日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）」は、去る10月25日に第64期の決算を行いましたので、法令に基づいて第59期～第64期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率 率	債 先 物 比	券 率 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落					
	円		円		%	%	%	百万円	
35期(2016年5月25日)	5,441		30	△0.6	94.3	—	—	739	
36期(2016年6月27日)	5,119		30	△5.4	93.5	—	—	740	
37期(2016年7月25日)	5,421		30	6.5	93.0	—	—	804	
38期(2016年8月25日)	5,120		30	△5.0	94.3	—	—	796	
39期(2016年9月26日)	5,241		30	2.9	95.6	—	—	822	
40期(2016年10月25日)	5,577		30	7.0	96.2	—	—	922	
41期(2016年11月25日)	5,863		30	5.7	95.1	—	—	1,122	
42期(2016年12月26日)	6,359		30	9.0	88.8	—	—	1,128	
43期(2017年1月25日)	6,413		30	1.3	95.4	—	—	1,294	
44期(2017年2月27日)	6,367		30	△0.2	95.0	—	—	1,447	
45期(2017年3月27日)	6,447		30	1.7	89.0	—	—	1,421	
46期(2017年4月25日)	6,577		30	2.5	95.7	—	—	1,257	
47期(2017年5月25日)	6,604		30	0.9	96.2	—	—	1,240	
48期(2017年6月26日)	6,266		30	△4.7	91.6	—	—	1,178	
49期(2017年7月25日)	6,223		30	△0.2	95.5	—	—	1,141	
50期(2017年8月25日)	6,254		30	1.0	94.6	—	—	1,232	
51期(2017年9月25日)	6,559		30	5.4	94.9	—	—	1,349	
52期(2017年10月25日)	6,642		30	1.7	93.3	—	—	1,327	
53期(2017年11月27日)	6,446		30	△2.5	93.8	—	—	1,345	
54期(2017年12月25日)	6,576		30	2.5	90.5	—	—	1,290	
55期(2018年1月25日)	6,584		30	0.6	93.1	—	—	1,287	
56期(2018年2月26日)	6,488		30	△1.0	94.4	—	—	1,291	
57期(2018年3月26日)	6,290		30	△2.6	94.9	—	—	1,260	
58期(2018年4月25日)	6,016		30	△3.9	91.8	—	—	1,272	
59期(2018年5月25日)	6,004		30	0.3	93.8	—	—	1,189	
60期(2018年6月25日)	5,840		30	△2.2	95.5	—	—	1,157	
61期(2018年7月25日)	5,931		30	2.1	95.1	—	—	1,163	
62期(2018年8月27日)	5,516		30	△6.5	94.3	—	—	1,134	
63期(2018年9月25日)	5,710		30	4.1	92.6	—	—	1,119	
64期(2018年10月25日)	5,701		30	0.4	94.1	—	—	1,091	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			円	%			
第59期	(期 首) 2018年4月25日	6,016		—	91.8		—
	4月末	5,885		△2.2	90.0		—
	(期 末) 2018年5月25日	6,034		0.3	93.8		—
第60期	(期 首) 2018年5月25日	6,004		—	93.8		—
	5月末	5,941		△1.0	93.4		—
	(期 末) 2018年6月25日	5,870		△2.2	95.5		—
第61期	(期 首) 2018年6月25日	5,840		—	95.5		—
	6月末	5,909		1.2	95.2		—
	(期 末) 2018年7月25日	5,961		2.1	95.1		—
第62期	(期 首) 2018年7月25日	5,931		—	95.1		—
	7月末	6,031		1.7	94.6		—
	(期 末) 2018年8月27日	5,546		△6.5	94.3		—
第63期	(期 首) 2018年8月27日	5,516		—	94.3		—
	8月末	5,427		△1.6	94.1		—
	(期 末) 2018年9月25日	5,740		4.1	92.6		—
第64期	(期 首) 2018年9月25日	5,710		—	92.6		—
	9月末	5,787		1.3	92.2		—
	(期 末) 2018年10月25日	5,731		0.4	94.1		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

（第59期～第64期：2018/4/26～2018/10/25）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.2%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



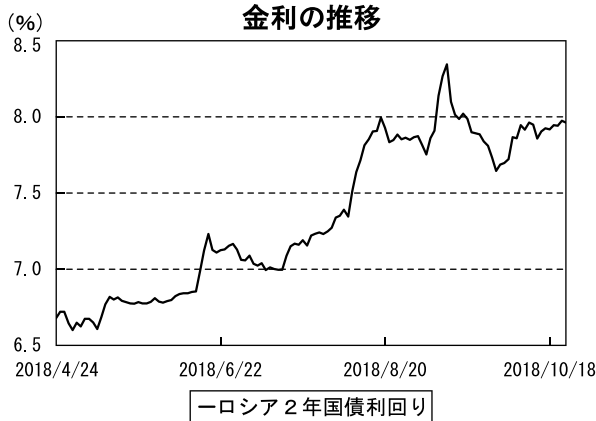
実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	債券の利子収益を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	ロシアルーブルが対円で下落したことや金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

（第59期～第64期：2018/4/26～2018/10/25）



(注) 現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

- ・ロシアの債券市場では、短期ゾーンの金利は上昇しました。米国の保護主義的な通商政策を起因とする世界的な景気下振れ懸念などから、新興国全般に対するリスクセンチメントが悪化する中、2018年9月に中央銀行が利上げを行ったことなどから、短期ゾーンの金利は上昇しました。

◎為替市況

- ・ロシアルーブルは対円で下落しました。2018年8月上旬までは、ロシアルーブルは対円で概ね横ばいで推移しましたが、その後、トルコ金融市場の混乱を背景とした市場からの資金流出などによる新興国の景気減速懸念の高まりなどから、ロシアルーブルは対円で下落しました。



当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

<短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）>

- ・短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じてロシアルーブル建ての短期公社債に実質的な投資をしました。

<短期ロシアルーブル債マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ1.7%の下落となりました。

- ・ロシアルーブル建ての短期公社債に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行い、作成期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・種別構成については、作成期を通じて残存期間3年以内の国債および国際機関債を組み入れました。
- ・債券の利子収益を享受したものの、ロシアルーブルが対円で下落したことや金利が上昇したことなどから、基準価額は下落しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

作成期首（2018年4月25日）

最終利回り	6.2%
直接利回り	6.4%
デュレーション	1.4年
平均残存年数	1.7年

作成期末（2018年10月25日）

最終利回り	7.5%
直接利回り	7.0%
デュレーション	1.6年
平均残存年数	1.9年



- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。
- ・平均残存年数は、各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
	2018年4月26日～ 2018年5月25日	2018年5月26日～ 2018年6月25日	2018年6月26日～ 2018年7月25日	2018年7月26日～ 2018年8月27日	2018年8月28日～ 2018年9月25日	2018年9月26日～ 2018年10月25日
当期分配金	30	30	30	30	30	30
（対基準価額比率）	0.497%	0.511%	0.503%	0.541%	0.523%	0.523%
当期の収益	25	26	30	27	30	26
当期の収益以外	4	3	—	2	—	3
翌期繰越分配対象額	2,525	2,522	2,524	2,523	2,524	2,521

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

<短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）>

◎今後の運用方針

- ・短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

<短期ロシアルーブル債マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・ロシアでは、外部環境の不透明感はあるものの、潜在成長率（中央銀行の推定では1.5%～2%）程度の成長が継続することが見込まれます。
- ・金融政策に関しては、自国通貨安によるインフレ加速懸念が出てきており、中央銀行は必要に応じて更なる利上げを行うとしており、当面インフレ動向を注視することが予想されます。
- ・主要先進国では、日本や欧州などの中央銀行により現行の緩和的な金融政策が継続する一方、米国では緩やかなペースで金融正常化が行われることが見込まれます。このような環境下、新興国に対する投資家のリスクセンチメントが改善する局面では、先進諸国との比較で相対的に金利水準の高いロシアなどへの金利差を狙った資金流入が今後も見込めると考えます。

◎今後の運用方針

（組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、高位組み入れを継続する方針です。

（種別構成）

- ・当面は残存期間3年以内の国債および国際機関債での運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年4月26日～2018年10月25日)

項 目	第59期～第64期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(16)	(0.271)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.380)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.013	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.010)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	40	0.686	
作成期中の平均基準価額は、5,810円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2018年4月26日～2018年10月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第59期～第64期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
短期ロシアルール債マザーファンド	千口 117,961	千円 100,475	千口 299,327	千円 261,057

○利害関係人との取引状況等

(2018年4月26日～2018年10月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年10月25日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第58期末		第64期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
短期ロシアルーブル債マザーファンド			1,425,712		1,244,345	1,089,300

○投資信託財産の構成

(2018年10月25日現在)

項	目	第64期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
短期ロシアルーブル債マザーファンド		1,089,300	99.1
コール・ローン等、その他		9,926	0.9
投資信託財産総額		1,099,226	100.0

(注) 短期ロシアルーブル債マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（1,089,340千円）の投資信託財産総額（1,095,396千円）に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=112.02円	1 ロシアルーブル=1.71円		
------------------	-----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末
	2018年5月25日現在	2018年6月25日現在	2018年7月25日現在	2018年8月27日現在	2018年9月25日現在	2018年10月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,219,256,973	1,169,772,602	1,171,553,904	1,146,619,979	1,177,698,276	1,099,226,073
コール・ローン等	6,400,079	4,570,256	7,112,104	5,091,216	7,096,928	3,855,033
短期ロシアルール債マザーファンド(評価額)	1,186,077,332	1,154,302,788	1,160,834,308	1,131,496,789	1,116,995,170	1,089,300,331
未収入金	26,779,562	10,899,558	3,607,492	10,031,974	53,606,178	6,070,709
(B) 負債	30,090,551	12,695,568	7,848,212	12,449,885	58,100,982	7,243,466
未払収益分配金	5,942,128	5,943,397	5,886,181	6,168,901	5,882,192	5,746,513
未払解約金	22,773,382	5,403,754	655,922	4,891,627	51,026,936	263,989
未払信託報酬	1,370,397	1,343,868	1,301,696	1,384,671	1,187,827	1,228,806
未払利息	12	9	13	7	12	7
その他未払費用	4,632	4,540	4,400	4,679	4,015	4,151
(C) 純資産総額(A-B)	1,189,166,422	1,157,077,034	1,163,705,692	1,134,170,094	1,119,597,294	1,091,982,607
元本	1,980,709,464	1,981,132,647	1,962,060,577	2,056,300,468	1,960,730,935	1,915,504,395
次期繰越損益金	△ 791,543,042	△ 824,055,613	△ 798,354,885	△ 922,130,374	△ 841,133,641	△ 823,521,788
(D) 受益権総口数	1,980,709,464口	1,981,132,647口	1,962,060,577口	2,056,300,468口	1,960,730,935口	1,915,504,395口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,004円	5,840円	5,931円	5,516円	5,710円	5,701円

○損益の状況

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
	2018年4月26日～ 2018年5月25日	2018年5月26日～ 2018年6月25日	2018年6月26日～ 2018年7月25日	2018年7月26日～ 2018年8月27日	2018年8月28日～ 2018年9月25日	2018年9月26日～ 2018年10月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 264	△ 324	△ 259	△ 246	△ 197	△ 159
受取利息	—	—	—	—	2	2
支払利息	△ 264	△ 324	△ 259	△ 246	△ 199	△ 161
(B) 有価証券売買損益	4,869,658	△ 24,772,152	24,697,486	△ 74,231,362	45,237,227	5,117,622
売買益	5,707,267	229,351	25,387,873	1,537,059	45,890,207	5,511,243
売買損	△ 837,609	△ 25,001,503	△ 690,387	△ 75,768,421	△ 652,980	△ 393,621
(C) 信託報酬等	△ 1,375,029	△ 1,348,408	△ 1,306,096	△ 1,389,350	△ 1,191,842	△ 1,232,957
(D) 当期繰越損益 (A+B+C)	3,494,365	△ 26,120,884	23,391,131	△ 75,620,958	44,045,188	3,884,506
(E) 前期繰越損益	△ 38,186,939	△ 39,855,842	△ 70,480,361	△ 51,753,271	△ 125,959,624	△ 84,980,494
(F) 追加信託差損益	△ 750,908,340	△ 752,135,490	△ 745,379,474	△ 788,587,244	△ 753,337,013	△ 736,679,287
(配当等相当額)	(434,707,138)	(436,152,111)	(432,668,124)	(457,949,042)	(437,637,752)	(428,097,330)
(売買損益相当額)	(△1,185,615,478)	(△1,188,287,601)	(△1,178,047,598)	(△1,246,536,286)	(△1,190,974,765)	(△1,164,776,617)
(G) 計 (D+E+F)	△ 785,600,914	△ 818,112,216	△ 792,468,704	△ 915,961,473	△ 835,251,449	△ 817,775,275
(H) 収益分配金	△ 5,942,128	△ 5,943,397	△ 5,886,181	△ 6,168,901	△ 5,882,192	△ 5,746,513
次期繰越損益 (G+H)	△ 791,543,042	△ 824,055,613	△ 798,354,885	△ 922,130,374	△ 841,133,641	△ 823,521,788
追加信託差損益	△ 750,908,340	△ 752,135,490	△ 745,379,474	△ 788,587,244	△ 753,337,013	△ 736,679,287
(配当等相当額)	(434,790,372)	(436,207,148)	(432,710,662)	(458,313,813)	(437,675,462)	(428,121,700)
(売買損益相当額)	(△1,185,698,712)	(△1,188,342,638)	(△1,178,090,136)	(△1,246,901,057)	(△1,191,012,475)	(△1,164,800,987)
分配準備積立金	65,479,956	63,513,431	62,658,548	60,665,916	57,406,651	54,860,494
繰越損益	△ 106,114,658	△ 135,433,554	△ 115,633,959	△ 194,209,046	△ 145,203,279	△ 141,702,995

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

① 作成期首（前作成期末）元本額 2,115,225,081円
 作成期中追加設定元本額 274,321,415円
 作成期中一部解約元本額 474,042,101円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.5701円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は823,521,788円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2018年4月26日～ 2018年5月25日	2018年5月26日～ 2018年6月25日	2018年6月26日～ 2018年7月25日	2018年7月26日～ 2018年8月27日	2018年8月28日～ 2018年9月25日	2018年9月26日～ 2018年10月25日
費用控除後の配当等収益額	5,011,055円	5,231,950円	6,302,766円	5,621,797円	6,067,955円	5,041,711円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	434,790,372円	436,207,148円	432,710,662円	458,313,813円	437,675,462円	428,121,700円
分配準備積立金額	66,411,029円	64,224,878円	62,241,963円	61,213,020円	57,220,888円	55,565,296円
当ファンドの分配対象収益額	506,212,456円	505,663,976円	501,255,391円	525,148,630円	500,964,305円	488,728,707円
1万口当たり収益分配対象額	2,555円	2,552円	2,554円	2,553円	2,554円	2,551円
1万口当たり分配金額	30円	30円	30円	30円	30円	30円
収益分配金金額	5,942,128円	5,943,397円	5,886,181円	6,168,901円	5,882,192円	5,746,513円

○分配金のお知らせ

	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
1 万口当たり分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	30円	30円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

短期ロシアルーブル債マザーファンド

《第11期》決算日2018年10月25日

[計算期間：2018年4月26日～2018年10月25日]

「短期ロシアルーブル債マザーファンド」は、10月25日に第11期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<p>ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。</p> <p>投資にあたっては、ロシアの国債、政府機関債等ならびにロシアルーブル建ての国際機関債に投資を行います。</p> <p>投資する公社債の残存年数は3年未満とします。</p> <p>金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。</p> <p>デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主 要 運 用 対 象	ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 総 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
7期(2016年10月25日)	7,406		5.3	96.4	-	919
8期(2017年4月25日)	9,080		22.6	95.9	-	1,255
9期(2017年10月25日)	9,499		4.6	93.6	-	1,323
10期(2018年4月25日)	8,904		△ 6.3	92.1	-	1,269
11期(2018年10月25日)	8,754		△ 1.7	94.3	-	1,089

(注) ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰	落			
(期 首) 2018年4月25日	円 8,904		% —		% 92.1	% —
4月末	8,710		△2.2		90.2	—
5月末	8,848		△0.6		93.6	—
6月末	8,856		△0.5		95.4	—
7月末	9,095		2.1		94.8	—
8月末	8,227		△7.6		94.3	—
9月末	8,831		△0.8		92.4	—
(期 末) 2018年10月25日	8,754		△1.7		94.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

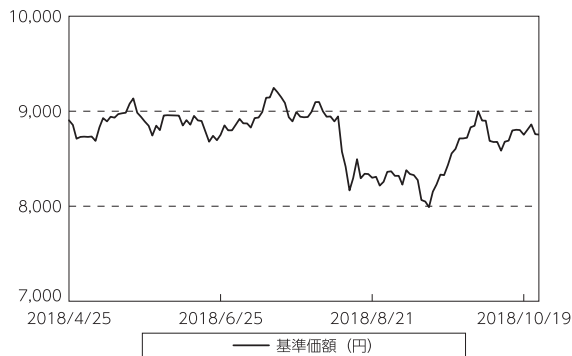
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.7%の下落となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎債券市況

- ・ロシアの債券市場では、短期ゾーンの金利は上昇しました。米国の保護主義的な通商政策を起因とする世界的な景気下振れ懸念などから、新

興国全般に対するリスクセンチメントが悪化する中、2018年9月に中央銀行が利上げを行ったことなどから、短期ゾーンの金利は上昇しました。

◎為替市況

- ・ロシアルーブルは対円で下落しました。2018年8月上旬までは、ロシアルーブルは対円で概ね横ばいで推移しましたが、その後、トルコ金融市場の混乱を背景とした市場からの資金流出などによる新興国の景気減速懸念の高まりなどから、ロシアルーブルは対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ロシアルーブル建ての短期公社債に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行い、期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・種別構成については、期を通じて残存期間3年以内の国債および国際機関債を組み入れました。
- ・債券の利子収益を享受したものの、ロシアルーブルが対円で下落したことや金利が上昇したことなどから、基準価額は下落しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・ロシアでは、外部環境の不透明感はあるものの、潜在成長率（中央銀行の推定では1.5%～2%）程度の成長が継続することが見込まれます。
- ・金融政策に関しては、自国通貨安によるインフレ加速懸念が出てきており、中央銀行は必要に応じて更なる利上げを行うとしており、当面インフレ動向を注視することが予想されます。
- ・主要先進国では、日本や欧州などの中央銀行により現行の緩和的な金融政策が継続する一方、米国では緩やかなペースで金融正常化が行われることが見込まれます。このような環境下、新

興国に対する投資家のリスクセンチメントが改善する局面では、先進諸国との比較で相対的に金利水準の高いロシアなどへの金利差を狙った資金流入が今後も見込めると考えます。

◎今後の運用方針

（組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、高位組み入れを継続する方針です。

（種別構成）

- ・当面は残存期間3年以内の国債および国際機関債での運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年4月26日～2018年10月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	1	0.011	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(1)	(0.010)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
	(0)	(0.001)	
合 計	1	0.011	
期中の平均基準価額は、8,737円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年4月26日～2018年10月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
			千ロシアルーブル	千ロシアルーブル
外 国	ロシア	国債証券	342,646	389,413

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2018年4月26日～2018年10月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年10月25日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ロシア	千ロシアルーブル 605,000	千ロシアルーブル 601,020	千円 1,027,745	% 94.3	% —	% —	% 38.9	% 55.4
合 計	605,000	601,020	1,027,745	94.3	—	—	38.9	55.4

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
ロシア	%	千ロシアルーブル	千ロシアルーブル	千円			
国債証券	6.4	RUSSIA OFZ 200527	6.4	230,000	225,854	386,210	2020/5/27
	6.8	RUSSIA GOVT 191211	6.8	60,000	59,569	101,863	2019/12/11
	7.5	RUSSIA OFZ 210818	7.5	40,000	39,456	67,469	2021/8/18
	7.6	RUSSIA GOVT 210414	7.6	210,000	208,448	356,446	2021/4/14
特殊債券	11.0	INTL FI (GL) 200121	11.0	65,000	67,692	115,753	2020/1/21
合 計						1,027,745	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2018年10月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,027,745	% 93.8
コール・ローン等、その他	67,651	6.2
投資信託財産総額	1,095,396	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(1,089,340千円)の投資信託財産総額(1,095,396千円)に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=112.02円	1 ロシアルーブル=1.71円
------------------	-----------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年10月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,095,396,029
コール・ローン等	50,170,076
公社債(評価額)	1,027,745,072
未収利息	17,214,121
前払費用	266,760
(B) 負債	6,070,721
未払解約金	6,070,709
未払利息	12
(C) 純資産総額(A-B)	1,089,325,308
元本	1,244,345,821
次期繰越損益金	△ 155,020,513
(D) 受益権総口数	1,244,345,821口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,754円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,425,712,291円
 期中追加設定元本額 117,961,406円
 期中一部解約元本額 299,327,876円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8754円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

短期ロシアルール債オープン(毎月分配型) 1,244,345,821円

③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は155,020,513円です。

○損益の状況 (2018年4月26日～2018年10月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	39,385,625
受取利息	39,391,443
支払利息	△ 5,818
(B) 有価証券売買損益	△ 58,737,966
売買益	1,207,126
売買損	△ 59,945,092
(C) 保管費用等	△ 128,215
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 19,480,556
(E) 前期繰越損益金	△ 156,324,594
(F) 追加信託差損益金	△ 17,486,116
(G) 解約差損益金	38,270,753
(H) 計(D+E+F+G)	△ 155,020,513
次期繰越損益金(H)	△ 155,020,513

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。